

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

10月後半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「アオサギ サギ科」
留鳥。全長 93cm。雌雄同色。日本で繁殖する最大のサギ。青みがかった灰色の羽毛で覆われている。



「キセキレイ セキレイ科」
留鳥。全長 20cm。雌雄ほぼ同色。細身で長い尾をよく振る。胸から腹にかけての黄色が特徴。



「イソヒヨドリ ヒタキ科」
留鳥。全長 23cm。磯で見られることが多かったが、近年市街地でも見られるようになった。



★「オオイタビ クワ科」★
常緑つる性の木本。関東以西の特に海岸近くの暖地に自生する。イチジク属の為、壺のような花囊の中に花が咲く。



★「オガタマノキ モクレン科」★
日本に自生するモクレン科では唯一の常緑樹。直径 15mm 程の袋果に種子が 2~3 個入っている。



「ジョロウグモ♀ ジョロウグモ科」
体長 17-30mm。腹部にある黄色と青色の縞模様が特徴。雄の大きさは雌の半分ほど。



「フユノハナワラビ ハナヤスリ科」
夏に枯れる冬緑性シダ植物。五角形の栄養葉の基部近くで孢子葉を分岐する。孢子葉の高さは約 25cm。



★「ツククサ ツククサ科」★
道端の少し湿った所に生える一年草。花の色素は水に溶け、友禅染の下絵を描く染料となる。



★「ミズヒキ タデ科」★
日陰を好む多年草。紅白の花が祝儀袋などに使われる水引に似ていることから名付けられた。

☆印はビジターセンター周辺にもありますので、車イスで見に行くこともできますよ♪
一年草：1年のうちで発芽し花が咲き種をつけ枯れる。 多年草：同じ株から枯れずに何年も続けて花を咲かせる。
駐・・駐車場で観察することができます。

果実も熟し始め、秋ならではの景色が広がっています。蚊対策をして散策を楽しみましょう♪

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2023年10月後半号



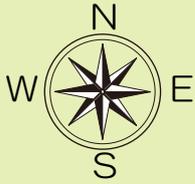
吉野熊野国立公園 宇久井半島

秋版

フェリーターミナル方面
通行できません

<散策時間の目安>

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

自然観察の森

上野展望台

防空監視哨

- マルバウツギ
- オガタマノキ
- 蛭子神社跡地
- ヤマモモ
- ヤブツバキ
- ハゼノキ (メジロがよく食べに来ます)
- ヒサカキ

ヤマモモ

モチノキ

ヤマモモ

ヤブツバキ

ハゼノキ

(メジロがよく食べに来ます)

ヒサカキ

エソビタキ・コゲラ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

ツツブキ

クスノキ

シロダモ

ツツブキ

シロダモ

赤灯台



タイミンタチバナ

スタジイ

●ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

灯台まであと4分

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ



木のすき間から浜が見えます。



オオキンカメモシ

地玉(じこく)の浜

- ハマオモト
- ハマナデシコ
- ハマゴウ
- ハマナタマメ
- トベラ

千尋の浜

(上地の浜)

- メジロ
- キシバト
- ヒヨドリ
- ウグイス

至休暇村

トベラ

アキグミ

ヤブツバキ

竹林

木のすき間から海が見えます。

ホルトノキ

シロダモ

松尾展望広場



凡例

- 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段

